

第4回 芝居と生演奏によるSPAC出張劇場

構成・演出／大岡淳 製作/SPAC-静岡県舞台芸術センター

わけあり男・女がまきおこす

“可笑しな恋”の物語

チェーホフ/作 『熊 -くま-』

チェーホフ 浦雅春/訳『桜の園/プロポーズ/熊』 光文社古典新訳文庫

平成 29 年 11 月 23 日(木・祝)

開演 午後3時 (開場 午後2時40分)

※上演時間は50分程度を予定しています。

図書館 視聴覚ホール (定員 100人)

※定員になり次第、入場を制限させていただきます。

出演/石井萌水・春日井一平・牧山祐大

音楽/渡会美帆

あらすじ・演出家 紹介

夫を亡くし家に引きこもる未亡人のもとに、かつてその夫にお金を貸していたという男が訪ねてくる。未亡人は男に、お金はすぐに用意できないから明後日来るように伝えるが、男はお金を返してくれないなら帰らないと言い張る。



口論をする二人を心配する年老いた召使い。借金の話は次第に、恋の駆け引きとなっていく…。

ロシアの文豪“チェーホフ”の恋愛戯曲を、生演奏とともにお楽しみください。

■大岡 淳

演出家・劇作家・批評家。1970年兵庫県生まれ。21世紀にふさわしいエンタテインメントの創造を目指し、県内外で活躍。SPACにおける代表作に『王国、空を飛ばす!～アリストパネスの「鳥」～』。編著に『21世紀のマダム・エドワルダ』(光文社)。現在、SPAC文芸部スタッフ、ふじのくに芸術祭企画委員、静岡文化芸術大学非常勤講師、梅光学院大学非常勤講師を務める。2020年東京オリンピック・パラリンピックに連動して静岡県が開催する文化プログラムの「共創プログラム・ディレクター」に就任。

静岡県舞台芸術センター 紹介

静岡県舞台芸術センター (Shizuoka Performing Arts Center : SPAC=スパック) は、専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優、舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団です。2007年より宮城聡が芸術総監督に就任し、多彩なラインナップからなる舞台芸術作品の創造と上演とともに「ふじのくにませかい演劇祭」の開催、中高生鑑賞事業や人材育成事業、海外の演劇祭での公演、地域へのアウトリーチ活動などに取り組んでいます。



[WEBサイト www.spac.or.jp]

当日のご案内

- ・入場無料です。申込みの必要はありません。
- ・小さなお子様連れの方は、2階親子室(10人程度)をご利用ください。
- ・定員になり次第、入場を制限させていただきます。
- ・上演中は空調設備を止めますので、暖かい服装でお越しください。

※この作品は12月2日(土)に御前崎市立図書館でも上演いたします。

参加無料

申込不要

吉田町立図書館 ☎0548-33-3434 〒421-0303 吉田町片岡 404